



各務原市

夢ある都市を目指して



各務原市長 森 真

近年の社会経済の変化を受け、私たちの生活スタイルはここ数年急激に変化してきました。急速な少子高齢化、団塊世代の方々が定年退職を迎え、市内で過ごす余暇が今後増えることを考慮しますと、これからの都市に求められるのは、生活の豊かさを実感できる魅力ある都市づくりです。

本市の都市づくりはこれまで、地域特有の地勢を活かし、市内の水と緑を回廊として結び、生活の場・仕事の場である都市を潤す憩いの場や癒しの空間を創出し、地球環境保全へ直結する都市と自然が共生する先駆的なモデルとなる日本初の美しい「公園都市（パークシティ）」をめざしてきました。

こうした取り組みは、平成17年公園都市日本一「緑の都市賞」内閣総理大臣賞受賞、平成21年住みよい都市国際コンクール銀賞「世界第3位」受賞など国内外から高い評価を受けております。

この度、本市は、地域主権時代における「知恵あるたくましい」独立都市自治体として市民と共に歩む都市のランドデザインとそこへ向かう行動計画である第2次新総合計画「夢ある都市—未来への創造—」を策定しました。国家の発展、そして社会の進歩、都市の成長は人口の大小で決まるものではありません。領土や市域の広さでもありません。科学・技術の進歩それ自体でもありません。商人や職人、企業家は自分の事業の発展を夢見てたくましく働き、勤労者はよりよい生活のために勤勉に就労します。建築家は自分の夢と創造力を建築物に、芸術家は自分の作品に、科学者は科学技術に自分の夢をたくましく追います。それが社会を、国家を、都市を進化させてきました。

社会発展の推進力は「夢とそれに向かうたくましさ」です。人間も、都市も、国家も同じです。夢、あるいはランドデザイン、目標とそれに向かうたくましさこそ、発展のエンジンです。

安心安全の都市、人づくり都市、人に優しい都市、文化創造都市、産業活力都市、未来への基盤づくり、これらの6つの都市戦略によって、日本の新しい未来を創造します。そして、市民ひとりひとりの心の底から夢とたくましさは湧くような都市、市民が持っている無限の潜在力を引き出し、先導的な知恵あるたくましい独立都市自治体、「元気な各務原市」、その発展として「夢ある都市」をつくりあげていきます。